



令和4年度

JAあつぎ自己改革の実践

夢ある未来へ「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」であり続けるために

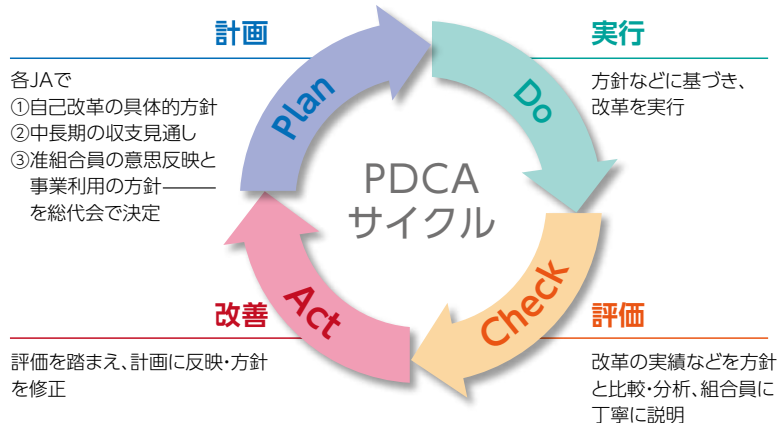
JAあつぎは、平成27年1月に独自の「JAあつぎ自己改革プラン」を策定し、取り組み事項を事業計画に反映したうえで、組合員が求める自己改革の実践に取り組んでまいりました。

本資料では、令和4年度から新たにに取り組むこととなった「自己改革実践サイクル」への対応の状況と、これまでJAあつぎが実践してきた取り組みの主な成果をご報告いたします。

「自己改革実践サイクル」とは

「自己改革実践サイクル」は、令和3年6月に閣議決定された規制改革実施計画において示された、JAが組合員との対話を通じて自己改革を実践していくための仕組みです。JAが①自己改革実践の方針を総代会で決定し、②将来の収支シミュレーションを用いた経営基盤強化に取り組み、③准組合員の意思反映と事業利用の方針をJA自らが判断する、これら3つの方針を計画・実行し、組合員の評価や意向を踏まえ方針を修正し、次の事業計画等へ反映させるPDCAサイクルを指します。JAあつぎは、従来の自己改革の実践に加え、令和4年度から「自己改革実践サイクル」に対応し取り組んでいます。

自己改革実践サイクル

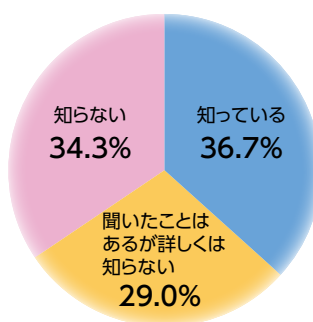


自己改革への取り組みに対する組合員の評価

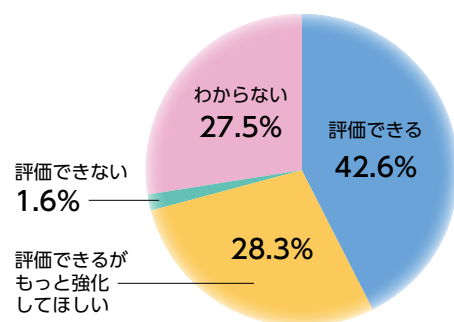
令和4年度、JAあつぎは自己改革に対する組合員の評価把握のため、組合員訪問を通じた聴き取り調査を行いました。その結果、取り組みに対する一定の評価と、今後のJAあつぎへの期待の声を多数いただきました。

調査対象：正組合員
准組合員（生産組合加入）
調査人数：821人
調査方法：個別訪問による聴き取り

自己改革の認知度



自己改革への評価



農業者の所得増大に向けた取り組み

JAあつぎは、農業者の所得増大に向けた自己改革の実践とともに、地域が抱えるさまざまな農業課題の解決に向けた提案や、新たな担い手の育成など、持続可能な地域農業を目指した取り組みをすすめています。

米生産農家に対する取り組み

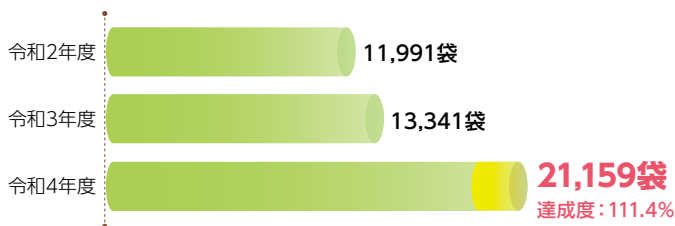
JA買取米数量拡大を通じた売上増加

対象者：米生産農家 想定売上増加効果：1袋あたり972円

令和4年度
目標



買取数量:19,000袋



各種水稲講習会の開催

令和4年度 講習会参加者数

343人



水稲追肥時期現地検討会

水稲苗の健苗供給

令和4年度 育苗供給数

44,947枚



水稲育苗センター

全ての生産農家に対する取り組み

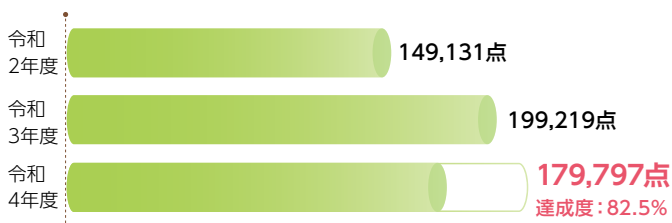
買取販売の拡大を通じた売上増加

対象者：必要とする全ての生産者 想定売上増加効果：1点あたり26.5円

令和4年度
目標



買取数量:218,000点



銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト低減

対象者：米生産農家 集約後銘柄：神奈川県水稲専用エコ特号 想定コスト削減効果：1袋あたり384~537円

令和4年度
目標



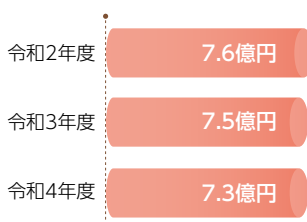
取扱数量:1,350袋



対象者：必要とする全ての生産者 集約後銘柄：化成肥料17-0-17 想定コスト削減効果：1袋あたり302円

地場農畜産物の販路拡大

夢未市売上高



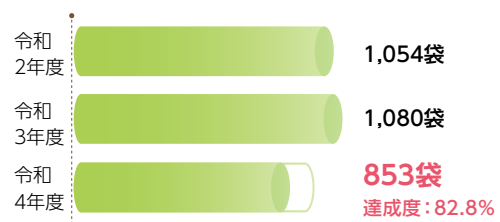
グリーンセンター売上高



令和4年度
目標



取扱数量:1,030袋



6次産業化による付加価値の向上



めれかり煎
令和4年度 販売数

29,646個



蒸し大豆
令和4年度 販売数

13,076個



厚木地粉うどん
令和4年度 販売数

6,157個

新規就農者をはじめとした担い手に対する取り組み

担い手・新規就農者の育成

令和4年度 新規就農者

5人



農業塾(基礎コース)

土地利用型作物の生産拡大

令和4年度 小麦作付面積

385a



小麦の生産拡大

キャベツ共同出荷の拡大による農地利用促進

令和4年度
キャベツ作付面積

271a



キャベツの共同出荷

農業機械レンタル事業による担い手支援

令和4年度
農業機械レンタル取扱件数

299件



農業機械レンタル事業

地域の活性化に向けた取り組み

J Aあつぎは地域に根ざした協同組合として、人々のつながり強化による地域の活性化を目指しています。また、総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に取り組んでいます。

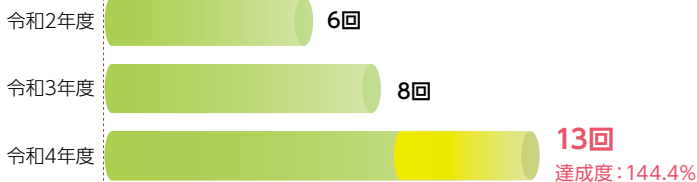
支所店を拠点とした協同活動の充実

対象者：組合員・地域住民など

令和4年度
目標



地区運営委員会による
農業体験等の開催回数:9回



移動販売車による買い物支援

対象者：組合員・地域住民など

令和4年度
目標



利用者数:12,200人



食農教育事業の実践



通年型食農教育事業「親子夢未Kidsスクール」



夢未市での食農教育イベント



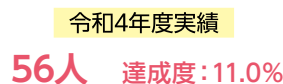
地場農産物を使った料理講習会

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価把握に向けた正組合員との対話のみならず、地域に根ざしたJAを目指し、准組合員向け各種活動の機会などを通じて「農とくらしをともに支えるパートナー」である准組合員の声を聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現しつつ、組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行っています。

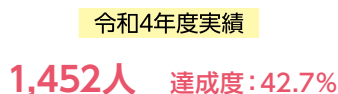
令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により予定していた取り組みを見合わせる場面が多くありましたが、組合員の理解と協力のもと、実施可能な範囲で活動を展開しました。

役員による組合員との対話



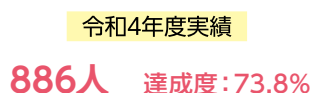
地区別座談会

職員による組合員訪問



准組合員向け活動

地区別座談会



准組合員利用者懇談会

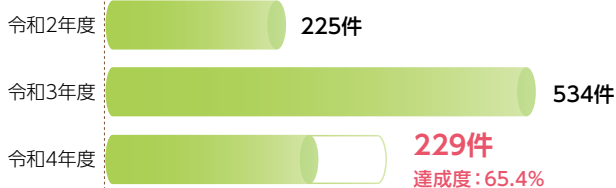


准組合員向け活動における直接的な対話・アンケートなどによる意見聴取



自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組み

組合員の事業利用拡大に向けた相談体制の強化



- 令和2年度 本所に総合相談部を設置
- 令和3年度 支所店に総合相談課を設置
- 令和4年度 相談対応力向上のための研修会等の実施

